

名古屋大学《未来社会創造機構・特任助教または研究員》公募要領

1	募集件名	特任助教または研究員の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所属	名古屋大学未来社会創造機構脱炭素社会創造センター	
4	募集内容	<p>[公募の背景]</p> <p>国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学は、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立大学法人東京科学大学などと共に、NEDO「太陽光発電導入拡大等技術開発事業」において、「高耐久・高効率ペロブスカイト CIS 軽量タンデム太陽電池の研究開発」を推進します。本プロジェクトは、次々世代の太陽電池技術であるペロブスカイト/CIS タンデム型の共通基盤構築を目指しています。</p> <p>[職務内容]</p> <p>(雇入れ直後)</p> <p>太陽電池の構造・作製プロセス・耐久試験条件・屋外曝露環境因子などの入力データと、初期特性や経時変化などの出力データとの関係を記述する機械学習モデルの構築と、構築したモデルの判断根拠を解析し、ペロブスカイト CIS タンデム太陽電池の効率・耐久性に対する各パラメータの影響の定量的な評価。</p> <p>(変更の範囲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構が指定する業務 <p>[求める人物像]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械学習や統計解析を用いた実データ解析に強い関心・経験を持つ方 ・太陽電池やエネルギー変換材料に関する知識・研究経験を持つ方は歓迎 ・異分野の研究者と積極的に協働できるコミュニケーション力・柔軟性を有する方 ・新しいテーマに挑戦し、自ら課題を設定・解決する意欲のある方 <p>[勤務地]</p> <p>(雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区</p> <p>(変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所</p> <p>[募集人員] 特任助教または研究員 1名</p> <p>[着任時期] 2026年4月1日以降のできるだけ早い時期</p>	
5	募集研究分野	(大分類) ものづくり技術	(小分類) 電気電子材料工学、電子デバイス、電子機器
		(大分類) 情報通信	(小分類) 数理情報学、統計科学、計算科学
6	勤務形態	<p>常勤（任期付）</p> <p>契約期間：期間の定めあり（採用日から2027年3月31日まで）</p> <p>試用期間：あり（採用日から6か月）</p> <p>契約の更新可能性：有（契約満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、法人の経営状況、従事している業務の進捗状況・プロジェクトの継続の有無・予算状況等により判断）</p> <p>プロジェクト期間/通算契約期間：最長2029年3月31日まで</p>	
7	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細]	

		<ul style="list-style-type: none"> 材料科学・電気化学・物理・データサイエンスなどの分野で博士号（または同等の研究実績）を有する方
8	待遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html 給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110000191.html 専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされます。 休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） 加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応募期間	2025年9月26日～2025年11月30日（必着）
10	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 履歴書（写真添付、連絡先（住所、電話、メールアドレス）明記） 業績リスト（学会誌等の論文、国際会議、著書・解説、特許、受賞など） これまでの研究（A4用紙2頁以内） 着任後の抱負（A4用紙1頁以内） 照会者2名の方の連絡先（氏名、所属、連絡先） 類型該当性の自己申告書（下記 URL より様式をダウンロードください。） https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/zXHTc8eBAB8Hmcs <p>上記の書類を圧縮するなどして1つのファイルにまとめて応募期間内に、以下 URL にアップロードしてください。 （"https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/FLe4tcCzDfanF35"） アップロード後には、下記連絡先に電子メールにて、応募したことを連絡してください。 （"usami.noritaka.i7@f.mail.nagoya-u.ac.jp"） なお、お送りいただいた書類は選考のみに使用しますが、返却はしませんのでご了承ください。</p> <p>[選考内容（選考方法、採否の決定）] 書類審査のうえ、面接を行います。面接の際の旅費は自己負担とします。 [結果通知方法] 選考結果はメールで通知します。</p> <p>[問い合わせ連絡先] 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻（兼）未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター 教授 宇佐美 徳隆 e-mail : usami.noritaka.i7@f.mail.nagoya-u.ac.jp</p>
11	その他	① 名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価

		<p>において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p> <p>② 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。</p> <p>③ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。</p> <p>④ 面接に要する交通費は支給しません。</p> <p>⑤ 2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。</p> <p>これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。</p> <p>⑥ 本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下のURLをご覧ください。</p> <p>ジェンダーダイバーシティセンターWebサイト:https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロギング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言:https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html</p> <p>⑦ 出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。</p>
--	--	--